

〔長久手町業務評価票：平成 18 年度業務〕

課係NO・業務NO	-	総合計画	5節 2項	行政運営
担当課・係名	人事秘書課	秘書係【問合せ・質問等の先（内線番号）	223番】	

業務の名称	町バス事業					
(1)根拠法令・条例	長久手町バス利用等に関する規程					
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 20% (係の総業務量を100%とする) 職員延人数：359.6人・日 (臨時雇用者延人数：__人・日)					
(3)事業費 (人件費分を除く)	13,180千円 (平成18年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))					
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	__% (平成18年度実績)					
(5)業務期間	開始した年度	昭和57年度	終了(予定)年度	年度		
(6)業務の概要(簡潔に箇条書きで記載)						
業務目的(達成目標)	町及び補助団体の町バスの利用の際に、安全な運行をし、円滑な事業運営の一助をなすこと。排ガス規制に適合したバスに変えること。					
業務が対象とする住民(地域、層)	町及び町の補助団体					
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	利用に関する予約、申請書の受付をおこない、利用内容について審査し利用許可を出す。法定点検、日常的な整備などの保守管理を行い、安全運行に努めた。排ガス規制により使用できなくなったため、新しい車両を購入した。旧車両は指名競争入札により売却した。					
業務の実施結果 (平成18年度実績)	排ガス規制に適合した車両に変えた。車格、装備等は最小限のものとし支出経費を押さえた。また、旧バスは新車の下取りよりも高い金額で、指名競争入札により売却した。					
	【業務結果の説明指標】					
	結果の説明指標		17年度	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
	1	車両購入に要した費用		12,563 千円		
	2	町の利用件数	110件	120件	130件	140件
	3	補助団体の利用件数	39件	39件	39件	40件
4						
5						
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】					
	成果の説明指標		17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
	1					
	2					
	3					
	4					
5						

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
自家用バスのため、利用目的や利用範囲に制限があることを理解していただくこと。

(8)改善実績（過去3年間の実績）
排ガス規制に適合したバスを購入した。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	4点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	4点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3点
		平均 3.6点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 (該当番号に○印)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） 4. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
評価理由	バス利用の支障となる事故等がなく運行できたこと。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
走行時のシートベルト着用について ・道路交法改正案で高速道路走行時の着用が審議されているが、法改正を機会にシートベルトの着用を促し、一層の安全運行に努める。